

避難情報を理解しよう！

■避難情報と河川の水位の関係

市は河川の水位等を判断材料のひとつとし、避難が必要と判断した場合、住民の皆様に対し、避難情報を発令します。いつ、どのような避難情報が発令されるかは、下表のとおりです。

警戒レベル	状況	行動を促す避難情報	住民の取るべき行動
5	災害発生 又は切迫	緊急安全確保※1	命の危険 直ちに安全確保
<警戒レベル4までに必ず避難>			
4	災害の おそれ高い	避難指示※2	危険な場所から 全員避難
3	災害の おそれあり	高齢者等避難※3	危険場所から 高齢者等は避難
2	気象状況悪化	大雨・洪水注意報 (気象庁が発表)	自らの避難行動を 確認
1	今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁が発表)	災害への 心構えを高める

※1 災害の状況を確実に把握できるわけではないため、必ず発令されるものではありません。

※2 市では、警戒レベル4発令時にサイレンを鳴らすなどして避難を呼びかけます。

※3 高齢者等以外の人も、普段の行動を見合せたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

◆ どこに避難すればいいの？

市では地区ごとにあらかじめ指定避難所の割り振りを行っていますので、坂戸市HP等で確認し、避難の参考にしてみてください。また、水害発生時は、浸水想定区域内の指定避難所は使用できませんので、ご注意ください。

なお、避難所に行くことだけが避難ではありません。あらかじめ親戚・友人宅やホテルなど、自宅以外の安全な場所に避難する「水平避難」や浸水想定区域内だが、建物が2階以上で、1階部分が浸水する程度の浸水深の場合は、2階以上に避難する「垂直避難」など、各家庭・個人にあった避難方法を検討しましょう。

※割り振られた指定避難所への避難を強制するものではありません。

坂戸市 避難所



◆ 避難情報はどのように伝えられるの？

避難情報は防災行政無線で放送されるほか、坂戸市防災アプリやさかろんメール、防災安全課X(旧ツイッター)等でも配信されます。風雨により、防災行政無線の音が聴こえない状況も想定し、複数の情報取得手段を用意するようにしてください。

放送例（警戒レベル4・避難指示の伝達文例）

緊急放送、緊急放送(又は、**警戒レベル4、警戒レベル4**)
こちらはぼうさいさかどです。

○○地区に**警戒レベル4 避難指示**を発令しました。

○○川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。

速やかに全員避難を開始してください。

避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。

■指定河川洪水予報と警戒レベルの関係

市内にある水位観測所の水位が警戒レベル相当に達したとき、気象庁が国や都道府県と共同して洪水予報を発表します。洪水予報が発表された場合、市は必要に応じて避難情報を発令し、避難を呼びかけます。

指定河川洪水予報		越辺川			高麗川	警戒レベル
洪水用法の標題	水位の名称	入西水位観測所	高坂橋水位観測所	天神橋水位観測所	坂戸水位観測所	
氾濫危険情報	氾濫危険水位	3. 2m	4. 6m	2. 9m	3. 4m	レベル4相当
氾濫警戒情報	避難判断水位	3. 0m	4. 1m	2. 5m	2. 8m	レベル3相当
氾濫注意情報	氾濫注意水位	3. 0m	3. 5m	2. 1m	1. 5m	レベル2相当
—	水防団待機水位	2. 0m	3. 0m	1. 5m	1. 0m	レベル1相当

※ 災害の状況を確実に把握できるわけではないため、必ず発令されるものではありません。